



小城市立歴史資料館 * 中林梧竹記念館だより

文化財説明板の設置を行いました

文化課では「～小城どこでんミュージアム～屋根のない博物館構想」に基づいて、市内各所に所在する文化財などに順次説明板の整備を行っています。

令和2年度は、三日月町本告の初水・弁財天に高札型説明板、芦刈町中溝の宝泉寺に鴨打氏「お館跡」の説明板および、牛津公民館南側のイッスイ井樋の説明板の補修を行いました。近くにお寄りの際はぜひご覧ください。



▲鴨打氏「お館跡」の説明板（芦刈町宝泉寺境内）

小城市立歴史資料館・中林梧竹記念館「新収蔵品展」が開催中です

◆期間 ～7月11日（日）

◆会場 歴史資料館 企画展示室

◆入場料 無料

本展示会では、昨年度、寄贈、寄託などにより収集した埋蔵文化財、古文書、中林梧竹書などを紹介しています。資料をご提供いただきました所有者の皆さまに厚くお礼申し上げます。



▲展示風景

おぎの歴史探検隊

小城市内の近世石工の里を訪ねて〈その2〉

今回は、現小城市三里を拠点とする西川石工とその作品をご紹介します。

西川石工の由来は、佐賀藩の石工組頭（棟梁）で、初代藩主鍋島勝茂の死去に伴って追腹（殉死）した武富清右衛門の屋敷が西川にあり、その配下にいた石工たちが「小城郡西川住」と記していたことから派生したと考えられています。武富清右衛門の名が最初に登場する石造物は、慶長2（1592）年に製作された牛尾神社の肥前鳥居（二の鳥居）です。



▲牛尾神社肥前鳥居

その後、名石工として登場するのは、富永仁右衛門と平川徳兵衛です。富永仁右衛門は、遠く広島県福山市鞆町の阿弥陀寺に伝わる地蔵菩薩像を手がけた

石工です。延宝3（1674）年に製作されたもので、ノミ痕を丁寧に磨き滑らかで流麗な意匠が特徴的です。

また、元禄時代を中心に活躍した平川徳兵衛は、肥前国だけでなく、肥後国（現熊本県人吉市や山鹿市）にも優秀な石仏が残されて



▲地蔵菩薩像



▲船観音像

います。身近なところでは、空山観音堂の三十三体の観音像の一番に名前が記されています。その他、「清水の滝」（清水観音堂＝見瀧寺）の小川のなかにある巨石をくり抜いた「船観音」も徳兵衛が手掛けた仏像だと伝えられています。

（続） 小城市郷土史研究会/著

◆開館時間 9時～17時

◆休館日 毎週月曜日・祝日

小城市ホームページから

梧竹・歴史資料館・文化財

検索

【問合せ・申込み】 歴史資料館 文化課（桜城館2階）

担当 下川・永田 ☎71・1132